



平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月15日

上場会社名 リファインバース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6531 URL http://www.r-inverse.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 大谷 淳 TEL 03 (5643) 7890
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	1,733	8.5	190	△6.7	174	△9.8	122	△6.0
28年6月期第3四半期	1,597	—	204	—	193	—	130	—

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 122百万円 (△6.0%) 28年6月期第3四半期 130百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	42.02	41.94
28年6月期第3四半期	50.67	—

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第3四半期	2,147	602	28.0	202.72
28年6月期	1,492	288	19.4	112.16

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 602百万円 28年6月期 288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成28年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350	10.8	282	5.6	263	6.5	315	91.2	107.27

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式を除く）により算定しております。

3. 平成29年6月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、公募増資及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資及び新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期3Q	2,969,950株	28年6月期	2,576,620株
② 期末自己株式数	29年6月期3Q	100株	28年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期3Q	2,921,703株	28年6月期3Q	2,576,620株

（注）当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想の修正につきましては、本日（平成29年5月15日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は平成29年5月15日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、四半期決算説明の動画を当社ウェブサイトへ速やかに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方で、海外経済においては、米国の政策動向やその影響等不確実性もあり、先行き注視すべき状態が続いております。

このような状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、再生樹脂製造販売事業においては、バージン樹脂製品価格との相対的割安感から、引き続き原料製品に対する引き合いは強く、順調に受注を獲得し、また、産業廃棄物処理事業においても、新規顧客の獲得、既存顧客での取引拡大、内装解体事業の受注増加などを通じ、年度当初から順調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,733,878千円（前年同期比8.5%増）、営業利益190,491千円（前年同期比6.7%減）、経常利益174,042千円（前年同期比9.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益122,775千円（前年同期比6.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、建築着工量は弱含みの状況が続くなか、ホテル・オフィス関連を中心としたリニューアル需要は底堅く、使用済みタイルカーペットの調達量も順調に推移してきました。

また、底堅いリニューアル需要を受け、原状回復時のタイルカーペットの張り替え件数が増えていることに加え、インテリア業界においては環境対応製品の市場がさらに拡大しており、その基礎原料としての当社グループの製品に対する需要は順調に増加しております。一方、新規事業の着手により、研究開発費等の費用が増加したため、売上高は636,897千円（前年同期比10.3%増）となり、セグメント損失は27,546千円（前年同期はセグメント損失3,296千円）となりました。

② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、タイルカーペトリサイクルに関連したオフィス系改修工事に伴う内装系廃棄物処理は堅調に推移しております。また、インバウンド需要に関連した商業施設やホテル等の大型改修工事等の受注も増加していることに加えて、市場が拡大しているマンション等のリフォーム・リノベーション案件において解体工事から収集運搬・中間処理までの一括受注体制の強化が業績に寄与しております。

その結果、売上高は1,128,493千円（前年同期比8.3%増）となり、セグメント利益は178,327千円（前年同期比0.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,406,998千円となり前連結会計年度末（「前年度末」）と比べ286,024千円増加しております。これは主として現金及び預金の166,844千円の増加、商品及び製品の29,560千円の増加、繰延税金資産の16,784千円の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は740,949千円となり、前年度末と比べ369,353千円増加しております。これは、主として有形固定資産の307,267千円の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,103,220千円となり、前年度末と比べ479,507千円増加しております。これは主として短期借入金の418,800千円の増加、1年内返済予定の長期借入金の110,332千円の減少、未払金の168,247千円の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は442,644千円となり、前年度末と比べ137,223千円減少しております。これは、主として長期借入金の152,731千円の減少及びリース債務の15,507千円の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は602,082千円となり、313,093千円増加しております。これは主として公募増資及び第三者割当増資などによる資本金・資本剰余金の189,544千円の増加及び利益剰余金の122,775千円の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月12日に発表いたしました平成29年6月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成29年5月15日）公表いたしました「平成29年6月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	739,833	906,678
受取手形及び売掛金	296,551	314,685
商品及び製品	8,516	38,077
仕掛品	99	7,637
原材料及び貯蔵品	13,017	19,891
繰延税金資産	5,571	22,356
その他	58,160	98,440
貸倒引当金	△777	△769
流動資産合計	1,120,974	1,406,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	77,450	76,907
機械装置及び運搬具	552,588	574,379
工具、器具及び備品	59,309	65,543
土地	102,100	102,100
リース資産	74,402	92,212
建設仮勘定	1,620	296,325
減価償却累計額	△545,150	△577,881
有形固定資産合計	322,320	629,587
無形固定資産	1,092	1,277
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,565	2,499
その他	47,637	109,415
貸倒引当金	△1,021	△1,831
投資その他の資産合計	48,181	110,083
固定資産合計	371,595	740,949
資産合計	1,492,569	2,147,947
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,667	42,719
短期借入金	6,000	424,800
1年内返済予定の長期借入金	313,964	203,632
リース債務	18,386	24,296
未払金	101,700	269,948
未払法人税等	74,672	75,295
賞与引当金	21,165	11,078
その他	50,157	51,451
流動負債合計	623,713	1,103,220
固定負債		
長期借入金	533,441	380,710
リース債務	46,426	61,934
固定負債合計	579,867	442,644
負債合計	1,203,581	1,545,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	394,772
資本剰余金	348,038	442,810
利益剰余金	△359,049	△236,273
自己株式	—	△96
株主資本合計	288,988	601,212
新株予約権	—	870
純資産合計	288,988	602,082
負債純資産合計	1,492,569	2,147,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,597,385	1,733,878
売上原価	1,102,523	1,192,732
売上総利益	494,861	541,146
販売費及び一般管理費	290,621	350,654
営業利益	204,240	190,491
営業外収益		
受取利息	121	36
受取保険料	1,705	—
受取補償金	135	135
その他	789	363
営業外収益合計	2,751	535
営業外費用		
支払利息	11,142	7,627
株式上場準備費用	2,729	9,277
その他	82	79
営業外費用合計	13,953	16,985
経常利益	193,038	174,042
特別利益		
固定資産売却益	2,199	888
特別利益合計	2,199	888
特別損失		
固定資産売却損	36	732
特別損失合計	36	732
税金等調整前四半期純利益	195,202	174,197
法人税等	64,648	51,422
四半期純利益	130,553	122,775
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,553	122,775

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	130,553	122,775
四半期包括利益	130,553	122,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,553	122,775
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用については、従来、年度決算で見込まれる税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法により計算していましたが、年度決算と同様の方法に変更しております。この変更は、各四半期の利益に対応した税金費用を精緻に計算して計上するためです。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日）

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成28年7月28日に東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資を行い平成28年7月27日に払込が完了しております。これにより90,000株の株式発行を行いました。

当社は、株式上場に関連してオーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当増資を行い平成28年8月30日に払込が完了しております。これにより24,700株の株式発行を行いました。

当社は新株予約権の行使により当第3四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ5,076千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が394,772千円、資本剰余金が442,917千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	557,161	1,040,224	1,597,385	1,597,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,501	1,410	21,911	21,911
計	577,662	1,041,634	1,619,297	1,619,297
セグメント利益又は損失 (△)	△3,269	176,994	173,725	173,725

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	173,725
セグメント間取引消去	30,497
未実現利益の調整額	17
四半期連結損益計算書の営業利益	204,240

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成28年7月1日 至 平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	605,896	1,127,981	1,733,878	1,733,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,000	511	31,512	31,512
計	636,897	1,128,493	1,765,391	1,765,391
セグメント利益又は損失 (△)	△27,546	178,327	150,781	150,781

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	150,781
セグメント間取引消去	39,626
未実現利益の調整額	84
四半期連結損益計算書の営業利益	190,491

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

1. 新会社設立

当社は、平成29年4月21日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議し、設立いたしました。

(1) 設立の目的

当社グループを取り巻く環境としては、企業の環境意識の高まりを受け、再生素材に対する需要や有効利用されていない廃棄物の再資源化への要望が高まっております。

現在当社で行っている使用済みタイルカーペットの再資源化にとどまらず、その他の複合素材製品の再資源化技術の開発及び事業化を加速させるため、今回千葉県富津市に設立する生産拠点を本社とし、新会社を設立することとなりました。

当社グループが持つ既存の再資源化技術をベースに、新たな再資源化技術を開発することによる新規事業の創出、雇用の拡大、地域社会への貢献を目指してまいります。

今般設立した新会社により生産技術開発及び製造機能を強化し長期的な企業価値向上を図ってまいります。

(2) 設立する子会社の概要

①名称	リファインマテリアル株式会社
②所在地	千葉県富津市新富52番3
③代表者の役職・氏名	代表取締役社長 枡村 順也
④出資比率	当社100%
⑤事業内容	再生樹脂製造販売事業
⑥資本金	50,000,000円
⑦設立年月日	平成29年5月1日
⑧決算期	6月末日
⑨当社との関係	人的関係 当社から2名が取締役を、1名が監査役をそれぞれ兼務します。 取引関係 当社製品である「TC0090」「TC0990」の販売

2. 第8回新株予約権の行使による増資

当社が発行いたしました新株予約権につき、平成29年5月10日に下記のように行使されています。

行使新株予約権個数	2,000個
交付株式数	20,000株
行使価額総額	19,700千円
増加する発行済株式数	20,000株
資本金増加額	9,850千円
資本準備金増加額	9,850千円

3. 連結子会社間の合併

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会において、当社の子会社である株式会社ジーエムエス（以下、「ジーエムエス」と言う。）を存続会社として、同じく当社の子会社であるインバースプロダクツ株式会社（以下「インバースプロダクツ」と言う。）を吸収合併することを決議いたしました。

(1) 本合併の目的

当社グループは産業廃棄物処理と廃棄物を原料とした再生素材製品の製造販売を行っております。中期的な成長のための取組みとして千葉県富津市に新たな生産拠点を設けるとともに、当該拠点にて新規事業の立上げや生産能力の増強などを担う事業会社を新設するなど持続的な成長のための取組みを強化しております。一方でグループ企業間での重複業務の発生など非効率的な側面が生じることも予見されるため、経営資源の最適化と効率化を目的としてグループ企業を再編することといたしました。

これまでジーエムエスで処理受託している様々な廃棄物の再資源化に向けた研究・開発の一部をインバースプロダクツにて行っておりましたが、今後さらなる推進を目的に2社を合併することといたしました。

また、この合併に伴いインバースプロダクツにおいて従来行ってきた再生樹脂の製造販売に関しては、平成29年7月稼働予定の千葉県富津市における新生産拠点の方に集約することといたしました。

(2) 本合併の要旨

①本合併の日程

取締役会決議日（当社、合併当事会社）	平成29年5月15日
吸収合併契約締結日（合併当事会社）	平成29年5月15日
合併承認株主総会 （存続会社）	会社法第796条第2項に基づき株主総会の承認決議を経ずに本合併を行う予定です。
（消滅会社）	平成29年6月29日（予定）
合併期日（効力発生日）	平成29年6月30日（予定）

②本合併の方式

ジーエムエスを存続会社とする吸収合併方式で、インバースプロダクツは解散します。

③本合併に係る割当ての内容

当社の完全子会社同士の合併であるため、本合併による株式その他の金銭等の割当てはありません。

④本合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

④本合併後の名称

株式会社ジーエムエス

3. その他

役員の変動

当第3四半期累計期間における役員の変動はありません。

なお、当第3四半期累計期間末後の平成29年4月21日付で、次のとおり役職の変動を行っております。

役職の変動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長 兼 (株)ジーエムエス 取締役 兼 インバースプロダクツ(株) 代表取締役社長 兼 リファインマテリアル(株) 取締役	代表取締役社長 兼 (株)ジーエムエス 取締役 兼 インバースプロダクツ(株) 代表取締役社長	越智 晶	平成29年5月1日
取締役 最高技術責任者 兼 インバースプロダクツ(株) 取締役 兼 リファインマテリアル(株) 取締役	取締役 最高技術責任者 兼 インバースプロダクツ(株) 取締役	堀内 賢一	平成29年5月1日
取締役 研究開発部長 兼リファインマテリアル 代表取締役社長	取締役 研究開発部長	栢村 順也	平成29年5月1日
監査役 兼 (株)ジーエムエス 監査役 兼 インバースプロダクツ(株) 監査役 兼 リファインマテリアル(株) 監査役	監査役 兼 (株)ジーエムエス 監査役 兼 インバースプロダクツ(株) 監査役	小林 孝実	平成29年5月1日